



～女性が被害に遭わないために～

「私には関係ない」という気持ちはありませんか？そういった気持ちがスキを作り、そのスキが犯罪者を呼び寄せてしまうこともあります。また、皆さんがしっかりしているつもりでも、一瞬の油断を狙われ、怖い場面に遭遇することもあります。

被害にあう可能性は誰にでも同じようにあります。普段からの被害防止を心掛けて下さい。

外出時の防犯

- 近道であっても暗くて危険な道は通らないようにしましょう。
- イヤホンなどをつけ、音楽などを聴きながらの歩行は、迫ってくる危険に気がつきにくくなり、対処が遅れてしまいます。
- 防犯ブザー等のグッズは、「警戒中のアピール」「万が一の時に大きな音が出せる」というメリットがあり、貴方を守ってくれます。



外出時の防犯

- 戸締まりを確実に。(侵入者は、二階の窓からでも容易に侵入します。)
- 女性の一人暮らしだとわからないよう、「家に入る前にたらいまと声を掛ける。」「男性用品を目につくところに置く」等の工夫しましょう。
- 屋外の洗濯物はこまめに取り入れ、下着は室内で干しましょう。
- ドアスコープやモニターテレビで相手を確認し、ドアチェーンを掛けたままで応対し、配達物の荷物は玄関前に置いてもらうなどしましょう。

電車内等での防犯

- 何かあれば勇気を持って声を出し、周囲の人に助けを求めましょう。
- 犯人の衣類や腕時計などの特徴を確認し、触っている手を掴んで助けを求め駅に着いたらすぐに警察や駅員に届け出ましょう。
- 非常ボタンの近くなどに乗車する。



被害に遭った場合には

- 大声を出して助けを求めましょう。(大声で逃げる犯罪者も多くいます。)
- 近くのコンビニや民家にかけて込み、助けを求めましょう。(自分一人で何とかしようとししないでください。)

電車内などで声を出すのはとても勇気のいることですが、声を出したり、届け出なければ犯行はエスカレートして被害は継続・拡大していく恐れがあります。一人で悩まず警察署または交番に届け出ましょう。

※女性警察官が対応することもあります。

